

もしもの時に備えよう

災害に備えて、家庭で取り組むことができる対策をご紹介します。

食料・飲料などの準備

- 飲料水3日分（1人3ℓ／日）
 - 非常食3日分（ご飯（アルファ米等）、ビスケット、板チョコ、乾パン等）
 - トイレト紙、ティッシュペーパー
 - マッチ、ろうそく
 - カセットコンロ など
- ※大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましい。
- ※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておく、などの備えを。

非常用持ち出しバッグの準備

- 飲料水、食料品（カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレート等）
 - 貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証等）
 - 救急用品（絆創膏、包帯、消毒液、常備薬等）
 - ヘルメット、防災頭巾、軍手
 - マスク
 - 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池
 - 携帯電話の充電器
 - 衣類、下着
 - 毛布、タオル
 - 洗面用具、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ
 - 携帯トイレ
- ※乳児のいる家庭は、ミルク、紙おむつ、哺乳瓶等を用意。

家具の置き方の工夫

- 家具は壁に固定。
- 寝室や子ども部屋の家具は最小限。置く場合も低い家具にして、倒れた時に出口をふさがないように向きや配置を工夫。
- 手の届くところに、懐中電灯、スリッパ、ホイッスルを準備。

（出典：首相官邸「災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう～」）



避難所の確認を

市では、34カ所の指定緊急避難場所と28カ所の指定避難所を指定しています。もしもの時のために、事前に確認しておきましょう。

また、3密を避けるため、親戚や知人宅等も避難先として事前に検討しておきましょう。



9月1日は 防災の日

日本の国土や風土は常に災害と表裏一体に形作られてきました。海の幸や山の幸、温泉なども、地震や火山などの地殻変動、そして台風や大雨・大雪などの気象現象とともに育まれてきました。長生・茂原の地も例外ではありません。

さまざまな災害が切迫・発生したときに、慌てることなく身を守ることができるよう、普段から備えることが大切です。

問合せ 防災対策課（4階）
☎（36）7580 FAX（20）1602

防災お役立ち情報

市では、災害時に市内の防災情報等を市公式ウェブサイトの他以下の媒体でも発信しています。ぜひご利用ください！

Yahoo!防災速報（アプリ）

配信内容：避難情報、防災情報、緊急地震速報、豪雨予測 など



もばら安全・安心メール

配信内容：避難情報、防災情報、防災行政無線の放送内容、不審者等発生情報 など



電話・FAX配信サービス

（高齢者や障害をお持ちの方等が対象）
配信内容：避難情報

ご希望の方は、
防災対策課へ
ご連絡ください。

防災行政無線 テレホンサービス

しみんは 1 1 9
☎0120(438)119

防災行政無線の放送内容を確認できます。（無料）